

令和7年度 第2回 江西中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年11月20日(木) 15時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 江西中学校 会議室
- 3 出席委員 大竹信二、稻垣佐登史、岡本弥佐、田所誉伯、小池麻理、石切山和美
- 4 欠席委員 鈴木義明
- 5 学校職員 田中健之(校長)、青島真紀(教頭)、内山陽介(教務主任)
沖田正伍(2学年主任)、森田美和(CSディレクター)
- 6 教育委員会 教育総務課 鈴木陽子
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 森田美和
- 9 前回会議録確認
- 10 議長の選出 小池委員が、議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
 - (1) キャリア教育の実践
 - (2) 部活動の地域展開について
 - (3) 学校評価アンケートについて
- 12 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

熟議に入る前に前回会議録の確認があった。

(1) キャリア教育の実践

議長の指示により、教頭から未来授業の報告とお礼があった。沖田先生から別紙資料に基づき、職場体験についての報告があり、委員から以下の発言があった。

・昨年度は、他の学校と日程が重なってしまい断られた事業所もあったが、今年は7月下旬から早めに電話連絡を始めたので、問題は解消できた。また、今回は遠方の事業所もあったが、困ったことはなかったか。(小池委員)

⇒遠方の事業所には生徒みんなで集まってから、バスに乗って出かけた。バスの乗り方や計画など含めてよい経験になったと思う。(沖田先生)

・来年度も遠方の事業所を含め、いろいろな業種を増やしていきたい。他の委員さんにも情報提供の協力をお願いしたい。(小池委員)

・家に帰ってきた子供がとてもいい顔をしていた。学校の中ではできない、いつもと

違う経験ができたり、体験中に先生方に自分の姿を見てもらえたことが、とてもうれしかったのだと思う。(石切山委員)

・支援学級の生徒は飲食店にも行ったようだが、調理の体験はさせてもらえたのか。(石切山委員)

⇒調理場というよりは、フロアの手伝いや、接客を主に体験できたと思う。(沖田先生)

・飲食店もいいのであれば、来年以降も今年同様いろいろな職業を体験してもらえるように考えていきたい。(石切山委員)

・生徒全員職業体験ができたのか。(石切山委員)

⇒当日の体調不良者を除いて、90人以上の生徒が参加できた。(沖田先生)

・今年は昨年度より事業者も職種増えている(大竹委員)

・職業体験後に、みんなで体験したことを話したり、まとめたりする機会はあるのか。(稻垣委員)

⇒体験をして帰ってきた生徒が普段とは違う姿を見せてくれ、体験したことや感じたことをたくさん話してくれた。また、今後授業の中で、お世話になった事業所にお礼文を書いたり、感想をまとめたりする時間をつくることになっている。(教頭先生)

・まとめをする中で、今後やってみたい業種や仕事を書いてもらうのも今後の参考になつていいと思う。飲食系がなかつたので今後考えたらどうだろうか。(大竹委員)

・Netsトヨタで体験した生徒は、車の整備やセールスの仕事など、一か所で違う仕事内容を見ることができて大変良かったと言っていた。子供目線でもどんな体験ができるか知るのもいいだろう。(教頭先生)

・せっかく体験しに行くのだから、生徒が行ってみたいなと思う所に行かせてあげたい。(稻垣委員)

・今は情報量が多いので、将来につながるいろいろな話を聞いたり、体験をさせてあげたいと思う。(大竹委員)

(2) 部活動の地域展開について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき、部活動の今後の展開について説明があった。

・平日は学校で部活動をし、土日は地域クラブへということだったが、ゆくゆくは平日も地域クラブに移行していくのか。(大竹委員)

⇒今のところ直ぐ移行するということはない。きちんとルールや地域での受け入れができるからだと思う。まずは体制づくりが先決だろう。(校長先生)

・中体連の大会は、今後なくなるのか。(岡本委員)

⇒来年夏の大会まではあるが、それ以降、新人戦などどうなるかまだ分からぬ。競技によっては登録制になつたり、集約されたり変わっていくだろう。各競技ごとにどうなっていくのか、来年9月以降に決まってくる。(教頭先生)

・高校進学の部活動裁量枠はどうなるのか。強いクラブチームに入ってやる子が選ばれるのか、裁量枠がなくなり学力だけで進学先が決まるのか。(大竹委員)

⇒確かに、高校の部活動裁量枠に関しては、この部活動地域移行はかみ合っていない。高校の事は県教育委員会が決めるので何とも言えないが、部活動移行の流れを汲んで、裁量枠に関しても変えていかなければならないと思う。今後どうなっていくのかわからないので、まだはっきりと答えられない。(校長先生)

・裁量枠を狙っている生徒は中学に入学する前、小学6年生のうちに地域クラブに行くか部活で頑張るのか決めなければいけないということになる。来年の9月以降に移行するといわれても、その選択をするのはもっと早い段階ですることになる。とても難しい問題で、早くはっきりしてもらいた。(大竹委員)

⇒システム自体がまだあいまいで決まってないことが多く、どうなっていくのかわからないことが多い。(教頭先生)

・兄弟姉妹がいる家は、この裁量枠を知っていて、狙っている子もいる。(大竹委員)

・クラブチームの方がしっかりした指導者がいたり、設備など整っているので強くなるだろう。選択肢がクラブチームになっていくだろう。(岡本委員)

・説明会では、部活動地域移行に関して質問しても確定ではないと言われることがあった。結局分からぬ中で、決断は子供たちや保護者がしていかなければならない。(大竹委員)

⇒今決断するのはとても難しいと思う。浜松市で取り組んでいる事で、母体が大きすぎるし、ルール作りや整備など決めなければいけないことが多すぎて、なかなか進めるのは大変だ。受験にも直結する問題なので不安に思うのは当然だと思う。(教頭先生)

・現在の部活動は自由参加か、それとも全員部活動に参加しなければいけないか。(岡本委員)

⇒2、3年前から部活動に入らなければいけないということはなくなった。(教頭先生)

⇒現在学年単位で100人中15人くらいの生徒が学校部活動に入っていない。しかし、部活動に入っていない生徒も外部のクラブチームに入って活動をしている子がほとんどだ。全く何もしていない生徒は5人程度だ。(沖田先生)

・部活動に入っていないと、内申点に関係するのではないか。(岡本委員)

・部活動をやらないと、学校から帰ってきて、家に押し込まれてしまうのではないか。

(石切山委員)

・家に帰ってもやることがなくて困るだろう。ゲームしかしない子供も出てくるのではないかと保護者も不安だろう。(岡本委員)

⇒新しい制度が始まる時は、落ち着くまでに何年かかるだろう。昔の話だが、土曜日の授業がなくなる時も、「土日に子供が家にいて何をしたらいいかわからない。」や、「時間の使い方がわからない。」などいろいろな意見や問題があったが、それも何年か経つと自然に受け入れられるようになる。理解や受け入れられるまで時間が需要だ。

(校長先生)

・地域クラブになってしまふと、家庭の経済面での負担も考えられ、入れない子が出てくると思う。学校部活だと、学校の設備や備品を使うことができるので、どんな生徒でも入ることができたが、クラブチームになると、金銭面や送迎などの関係で、我慢しなければならない子供が出てくると思う。(岡本委員)

・趣味の範囲を広げる活動とは言うが、なかなか難しいのではないだろうか。(大竹委員)

・地域クラブや部活に入らなかった子供が、やる事がなく集団になってしまい、悪いことや、他のことに興味を持ってしまい、事件や事故に巻き込まれないか心配になる。現状両親が働いている家庭が多く、子供が早く家に帰っても大人がいれば見守りはできるが、そうできる家庭が少ない。部活やクラブで頑張ろうとする子はいいが、自分で何をしたいかわからなくて決められない子も出てくるだろう。(稻垣委員)

・駅伝も終わってしまうのか。(岡本委員)

⇒いまのところ、浜松地区駅伝は来年が最後の大会になるようだ。1回終わってしまうとまた再開するのは難しいだろう。(教頭先生)

・部活動の移行の余波が子供たちに影響ないように、いろいろ配慮が必要だと思う。

(稻垣委員)

・部活や地域クラブで頑張れる子と、家でゲームをしたり、時間をうまく使えなくなる子が二極化するだろう。学校で授業を受けて、家に帰り、その後一人でゲームをする。そのような子供が増えてしまわないか心配になる。(石切山委員)

(3) 学校評価アンケートについて

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき、学校評価アンケートの結果について説明があった。

・学校活動の振り返りのため、来年度の学校活動のあり方を考えるために実施している。昨年度のアンケートの項目を見て、改善点やご意見等があったら言ってほしい。

(教務主任)

- ・挨拶ができないというのは気になる。確かに、以前より学校に入ってきても生徒からの挨拶が少ないと感じることがある。(大竹委員)
- ・いくつかの項目の中で、自己肯定感が上がってきていると感じた。(岡本委員)

13 報告

教頭の指示により、学校支援コーディネーターより、職場体験のお礼と次年度の協力の要請があった。

14 その他連絡事項

- ・教頭から学校運営協議会の自己評価表の記入について説明があり、12月12日(金)までに学校に提出するよう連絡があった。
- ・次回議長の選出
次回の議長について、輪番制で石切山委員の番ということで、全員異議なくこれを承認した。
- ・次回の開催日時について
CSディレクターから、第3回協議会を令和8年2月6日(金)15時から、本校舎1階会議室で開催する旨の連絡があった。